

平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月27日

上場会社名 アートスパークホールディングス株式会社 上場取引所 東コード番号 3663 URL http://www.artspark.co.jp

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 慎也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

() (CIPIED (XIX (XIVI))					(/ 0 -	22/3/10/5/7	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	A1-0 1/20 1 /
	売上高		営業利	益	経常利	J益	親会社株主に 四半期純	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	2, 757	△9.5	516	5. 9	506	10.8	436	14. 2
28年12月期第3四半期	3, 046	△2.7	487	_	457	_	382	_
() ムエエリナ 00 左 10 日 #日	7/T O FEE N/ #FE	400-	Tm/ 1/ 0	0/\ 00/=	10 0 #0 #5	N/ #F	20F 	0()

(注) 包括利益 29年12月期第 3 四半期 439百万円(14.0%) 28年12月期第 3 四半期 385百万円(—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円銭
29年12月期第3四半期	64. 34	62. 83
28年12月期第3四半期	56. 46	54. 67

(2) 連結財政状態

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
29年12月期第3四半期	4, 076	3, 228	78. 8	
28年12月期	3, 699	2, 798	75. 2	
/ 4 + \	#0 <i>ff</i> 0 m 1/ #0 0 010	TTE 00 51	0.01	

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 3,213百万円 28年12月期 2,781百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭			
28年12月期	_	0.00	_	3.00	3.00			
29年12月期	_	0.00	_					
29年12月期(予想)				4. 00	4. 00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	5	営業利	益	経常利	益	親会社株主に る当期純	ニ帰属す 利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3, 482	△9.2	375	△25.1	353	△26.0	297	△11.9	43. 81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期3Q	6, 794, 220株	28年12月期	6, 779, 120株
29年12月期3Q	3, 165株	28年12月期	3, 125株
29年12月期3Q	6, 780, 805株	28年12月期3Q	6, 766, 941株

- ※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報 ······ 2	2
(1)	経営成績に関する説明 2	2
(2)	財政状態に関する説明	}
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	}
2. [四半期連結財務諸表及び主な注記	Į
(1)	四半期連結貸借対照表	Į
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	;
(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	3
	(継続企業の前提に関する注記)	3
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	3
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	3
	(ヤグメント情報等))

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年1月1日~平成29年9月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の 改善が続き、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られる等、緩やかな回復基調が継続しております。一方、海外 では、米国の政策動向や東アジア地域の情勢不安等による世界経済の不確実性の影響もあり、景気の先行きは依然とし て不透明な状況となっております。

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作から利用・活用に至るまでの諸活動を、トータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しております。

当連結会計年度におきましては、ソフトウェアIPを核とした経営に重点を置き、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力しております。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は2,757,592千円(前年同期比9.5%減)、営業損益は516,001千円の営業利益(前年同期比5.9%増)となりました。

経常損益につきましては、支払利息2,934千円、為替差損2,505千円を計上したこと等により、506,646千円の経常利益(前年同期比10.8%増)となりました。純損益につきましては、ソフトウェアの減損損失12,772千円を特別損失に計上したこと、税金費用57,679千円を控除したこと等により、436,309千円の親会社株主に帰属する四半期純利益(前年同期比14.2%増)となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業展開、経営資源の配分の決定及び業績評価の方法を実態に即して見直したことにより、報告セグメントの区分を変更しております。従来の「コンテンツソリューション事業」、「クリエイターサポート事業」、「UI/UX事業」の3報告セグメントの区分について、「コンテンツソリューション事業」を「クリエイターサポート事業」に含めることとし、「クリエイターサポート事業」と「UI/UX事業」の2報告セグメント体制へ変更しました。以下の前年同期比較につきましては、変更後のセグメント区分に組替えた数値で記載しております。

<クリエイターサポート事業>

当第3四半期連結累計期間では、マンガ・イラスト・アニメ制作ソフトウェア「CLIP STUDIO PAINT」において全世界同時バージョンアップを行い、要望が多かったドイツ語版の提供を開始いたしました。これによりすでに提供中の日本語、英語、韓国語、中国語(繁体字)、フランス語、スペイン語とあわせて7言語への対応となりました。また、1つのシリアルナンバーで複数台のPCにインストールが可能で、企業や学校への導入に最適な「CLIP STUDIO PAINT EX ボリュームライセンス サブスクリプション版」の提供を開始いたしました。さらに、「CLIP STUDIO PAINT PRO」においては、今年で5年目となるイベント『初音ミク「マジカルミライ 2017」』への出展に際して、会場限定のオリジナルパッケージ版を販売いたしました。

この他、講談社が神奈川県足柄上郡松田町の教育現場に向けて提供する電子書籍サービスに、電子書籍ビューア「BS Reader for Browser」が採用されました。

なお、インターネットを通じてクリエイターの創作活動をトータルに支援するwebサイト「CLIP STUDIO」においては、 平成29年9月末時点の登録者数は94万人となっております。

以上の結果、売上高は1,820,448千円(前年同期比12.4%増)、営業利益は311,346千円(前年同期比80.5%増)となりました。

<UI/UX事業>

UI/UX事業では、前期に引き続き、自動車(四輪・二輪)関連分野、並びに業務用・コンシューマー用プリンター等向けに、HMIの基盤であるUIオーサリングソフトウェア群「exbeans UI Conductor」を始めとする自社IP製品の開発と販売に注力しております。

また、自社IP製品を核とするビジネス創出を推進するため、世界で最も影響力のあるデザイナーを一堂に集めディスカッションやディベートが行われる「Car Design Forum 東京 2017」に、ゴールドスポンサーとして参加いたします。

この他、次世代の車のIoT時代に向けて、移動体向け車両情報伝達ソフトウェア「exbeans VI Transfer」と、組込機器向け汎用Webアプリケーションプラットフォーム「exbeans Affinity」を組み合わせて提供することで、様々な車両情報を活用した新たなサービス事業、及び機器の開発に貢献すべく、引き続き積極的な営業・提案活動を行っております。

以上の結果、売上高は992,353千円(前年同期比31.3%減)、営業損益は158,933千円の営業利益(前年同期比46.3%減)となりました。

なお、本セグメントにおける前第3四半期連結累計期間の売上高1,444,155千円につきましては、前第3四半期累計期間に株式を売却した孫会社株式会社エイチアイ関西の売上高275,903千円が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて376,822千円増加し4,076,507千円となりました。この主な要因は、ソフトウエアが94,790千円減少した一方で、売掛金が278,944千円、ソフトウエア仮勘定が92,207千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて53,625千円減少し847,840千円となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が39,889千円、未払法人税等が30,379千円増加した一方で買掛金が7,701千円、短期借入金が116,690千円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて430,448千円増加し3,228,666千円となりました。この主な要因は、資本金が6,876千円、資本剰余金が6,876千円、利益剰余金が415,981千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、78.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の連結業績予想につきましては、平成29年2月10日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

	治海針入計左座	(単位:千円)
	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 152, 234	2, 154, 89
売掛金	259, 294	538, 23
製品	4, 333	5, 42
仕掛品	3, 894	4, 26
原材料及び貯蔵品	16, 660	18, 85
その他	107, 154	172, 06
貸倒引当金	$\triangle 1,432$	△8, 83
流動資産合計	2, 542, 140	2, 884, 91
固定資産		
有形固定資産		
建物	66, 689	73, 62
減価償却累計額	$\triangle 42,564$	$\triangle 45,66$
建物(純額)	24, 124	27, 95
工具、器具及び備品	205, 415	224, 20
減価償却累計額	$\triangle 179,534$	△186, 85
工具、器具及び備品(純額)	25, 881	37, 34
車両運搬具		3, 92
減価償却累計額	_	△98
車両運搬具(純額)		2, 94
リース資産		4, 15
建設仮勘定	6, 029	_
有形固定資産合計	56, 035	72, 40
無形固定資産		
ソフトウエア	857, 312	762, 52
ソフトウエア仮勘定	22, 430	114, 63
その他	32, 163	31, 34
無形固定資産合計	911, 906	908, 50
投資その他の資産		
投資有価証券	58, 517	81, 87
敷金及び保証金	111, 114	114, 09
その他	19, 361	14, 71
投資その他の資産合計	188, 993	210, 68
固定資産合計	1, 156, 935	1, 191, 59
繰延資産	608	_
資産合計	3, 699, 684	4, 076, 50

	1111	/		_	-		1
((単	17	•	_	-	Ш	١)

	前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間
	(平成28年12月31日)	(平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	68, 135	60, 433
短期借入金	306, 690	190, 000
1年内返済予定の長期借入金	50, 639	90, 528
未払法人税等	27, 435	57, 814
返品調整引当金	1, 281	527
賞与引当金	69, 830	89, 192
その他	232, 126	171, 155
流動負債合計	756, 137	659, 652
固定負債		
長期借入金	36, 372	35, 148
役員退職慰労引当金	_	24, 660
退職給付に係る負債	108, 085	121, 809
リース債務	_	4, 561
繰延税金負債	871	2,009
固定負債合計	145, 328	188, 188
負債合計	901, 466	847, 840
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 056, 688	1, 063, 564
資本剰余金	535, 815	542, 691
利益剰余金	1, 190, 994	1, 606, 976
自己株式	△2, 946	△3,006
株主資本合計	2, 780, 551	3, 210, 225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	796	3, 519
その他の包括利益累計額合計	796	3, 519
新株予約権	16, 870	14, 921
純資産合計	2, 798, 218	3, 228, 666
負債純資産合計	3, 699, 684	4, 076, 507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	3, 046, 535	2, 757, 592
売上原価	1, 785, 042	1, 397, 578
売上総利益	1, 261, 492	1, 360, 013
返品調整引当金戻入額	2, 305	1, 281
返品調整引当金繰入額	2, 467	527
差引売上総利益	1, 261, 329	1, 360, 767
販売費及び一般管理費	774, 050	844, 766
営業利益	487, 279	516, 001
営業外収益		
受取利息	152	57
受取配当金	535	542
その他	2, 979	26
営業外収益合計	3, 667	626
営業外費用		
支払利息	4, 598	2, 934
為替差損	23, 402	2, 505
特許権償却	2, 729	2, 683
その他	3, 022	1, 856
営業外費用合計	33, 753	9, 980
経常利益	457, 193	506, 646
特別利益		
新株予約権戻入益	145	115
特別利益合計	145	115
特別損失		
減損損失	-	12, 772
子会社株式売却損	6, 495	_
投資有価証券評価損	6, 766	<u> </u>
特別損失合計	13, 261	12, 772
税金等調整前四半期純利益	444, 077	493, 989
法人税等	58, 653	57, 679
四半期純利益	385, 423	436, 309
非支配株主に帰属する四半期純利益	3, 362	
親会社株主に帰属する四半期純利益	382, 061	436, 309

四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間

		(単位:千円)_
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	385, 423	436, 309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△233	2, 723
その他の包括利益合計	△233	2, 723
四半期包括利益	385, 189	439, 033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	381, 827	439, 033
非支配株主に係る四半期包括利益	3, 362	_

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益
	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	計	(注) 1	計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	1, 604, 812	1, 444, 155	3, 048, 968	△2, 433	3, 046, 535
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14, 618	_	14, 618	△14, 618	_
計	1, 619, 430	1, 444, 155	3, 063, 586	△17, 051	3, 046, 535
セグメント利益	172, 485	296, 006	468, 491	18, 788	487, 279

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。
 - 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報該当事項はありません。
- 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内業績管理区分の見直しを行った結果、アプリケーション事業とUI/UX事業を集約し、UI/UX事業として表示する方法に変更しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益
	クリエイター サポート事業	UI/UX事業	1111	(注) 1	計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	1, 765, 640	991, 951	2, 757, 592	_	2, 757, 592
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54, 808	402	55, 210	△55, 210	_
∄ †	1, 820, 448	992, 353	2, 812, 802	△55, 210	2, 757, 592
セグメント利益	311, 346	158, 933	470, 279	45, 721	516, 001

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。
 - 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「クリエイターサポート事業」セグメントにおいて、将来使用見込がなくなったソフトウェアについて減損損失 を12,772千円計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業展開、経営資源の配分の決定及び業績評価の方法を実態に即して見直したことにより、報告セグメントの区分を変更しております。従来の「コンテンツソリューション事業」、「クリエイターサポート事業」、「UI/UX事業」の3報告セグメントの区分について、「コンテンツソリューション事業」を「クリエイターサポート事業」に含めることとし、「クリエイターサポート事業」と「UI/UX事業」の2報告セグメント体制へ変更しました。なお、前第3四半期連結累計期間につきましては、変更後のセグメント区分に組替えた数値で記載しております。